

中小企業向け省エネルギー対策補助金活用支援業務公募型プロポーザル選定委員会
議事要旨

令和5年3月28日
環境政策課

中小企業向け省エネルギー対策補助金活用支援業務公募型プロポーザルについて、中小企業向け省エネルギー対策補助金活用支援業務公募型プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」）での審査を踏まえ、次のとおり候補者を選定した。

1 候補者

候補者	公益財団法人中国地域創造研究センター
代表者	会長 芦谷 茂
住所	広島市中区小町4-33 中電ビル3号館5F
契約期間	令和5年4月4日から令和6年3月29日（予定）
申請提案額	28,391,922円（予定）

【選定理由】

審査会において、応募者から提出された事業提案書など、提案内容を審査基準に基づき審査を行った。

その結果、評価項目とした「事業の全体計画」「セミナー」において、

- ・県内の3地域で開催するとともに、オンラインでも開催し、幅広い参加に配慮している点
- ・プログラム構成も問題なく、期待が持てる点

などが、優れていると評価された。

2 会議の概要

開催日時	令和5年3月28日（火）13:10～13:50
開催場所	オンライン
議題	中小企業向け省エネルギー対策補助金活用支援業務の公募型プロポーザル審査

3 応募者（順番は申請順）

応募者名		住所	代表者名
A	公益財団法人中国地域創造研究センター	広島市中区小町4-33 中電ビル3号館5F	芦谷 茂

4 中小企業向け省エネルギー対策補助金活用支援業務公募型プロポーザル候補者選定状況

(1) 選定委員

委員	福田 幸作（広島県環境県民局総括官（環境）） 渡邊 哲也（広島県環境県民局環境政策課長） 岡田 誠司（広島県環境県民局環境保全課長） 出射 太（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（ものづくり・新産業支援）） 増廣 浩二（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（環境エネルギー産業集積促進））
----	---

(2) 審査基準及び結果等

県は、2050年ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた取組を推進しており、中でも自主的な取組みの遅れが懸念される中小企業に対し支援が必要である。本業務の狙いは、イベントを通じて、事業者の機運醸成や補助金活用を促進させることであることから、「事業の全体計画」のほか、イベントの「セミナー」及び「相談会」の内容に重点をおいて審査を行った。

審査項目	審査基準	配点 ウェイト	応募者	評価及び選定理由
			A	
1 事業の全体計画	各イベントについて、中小企業を惹きつける補助制度や講演者の選定、県内各地から参加できる開催手法、開催場所、開催時期の選択がされ、効果的な集客が期待できる。	50	36	・県内の3地域で開催するとともに、オンラインでも開催し、幅広い参加に配慮している。
2 セミナー	参加企業が環境対策に取り組むことの意義とメリットを認識するとともに、補助金活用の検討といった次のステップへの筋道などを示す企画内容となっている。	50	34	・基調講演の講師候補もリストアップされており、プログラム構成も問題なく、期待が持てる。 ・聞き手の行動変容を促す期待感は弱い。

3 相談会	より多くの中小企業の参加が見込まれ、かつ、補助金申請の後押しになる企画内容となっている。	50	36	・県内3地域で実施し、バランスに配慮され、個別相談までオンラインとのハイブリッドでの開催となっている点は良い。
	十分な人員を確保し、円滑な実施運営が期待できる。	50	34	
	参加者からの多様なレベルの相談内容に対応するため、知見と経験を有するスタッフの配置が期待できる。	50	34	
4 イベント資料	イベント参加者の理解が促進され、イベント後に自発的な取組みを行ううえで参考になる資料となっている。	25	15	・参加者に取組を促す、具体的な事例まで踏み込んだ記載はないが、必要な要素は満たされている。
5 実施体制	スタッフの配置等業務実施体制が適切で、実施スケジュールにも無理がない内容となっており、また、イベント時に対応した相談内容について、フォローアップする体制が整っている。	25	16	・相談対応が外部人材であり、相談会以降のフォローについて不安がある。
合 計 点 数		300	205	

※本結果は、5名の委員の合計点によるものである。